

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(平成30年度分)

施設名 松江市立東津田児童館
 指定管理者 社会福祉法人松江福祉会
 担当課 子育て政策課
 指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

1. 総合評価

市	A	<p>【優れていると評価した点】 ○地域の方や児童館利用者OBなど様々な立場からの協力を得て、活動内容を工夫しており利用者や事業参加者の増加につながり、また参加者からの高評価につながっている。 ○児童館活動において、定期的に「子ども委員会」を開催し、児童館を利用するルールを自ら考える場を持たせることにより、子どもたちの自主的な活動に繋がっている。</p> <p>【評価できない、または改善すべき点】 ○学校の長期休業期間中の利用者増に伴う利用者の不満については、市、指定管理者、地域が連携し何等かの方策を検討する必要がある。</p>
---	---	--

指定管理者	A	<p>【優れていると評価した点】 ○様々な技術や専門的な知識を持った方を講師に招き、活動に生かすことで、日頃体験できないことが体験できると大変喜ばれた。 ○親子リズム体操や歯についての講座などの母親向けの講座では、内容について学ぶだけでなく、月齢の近い子どもを持つ母親同士のつながりができたり、情報交換ができると喜ばれている。 ○自主事業である児童館まつりでは、地元や日頃児童館を利用している団体を中心に作品の展示、ステージでの発表等を行い、世代を超えた交流を1日楽しんでいただいた。</p> <p>【評価できない、または改善すべき点】 ○学校の長期休み中、小中学生の利用が非常に多く、話し合いのうえ交代で部屋の利用をしたり、広場に出かけたりするにはしているものの、満足するまで遊ぶことができないことがあり、子どもたちから不満の声が上がることもある。限られた予算や職員配置のなかでは十分に対応できないこともあるので、松江市、地域、指定管理者で良い方法を考えたい。</p>
-------	---	---

2. 施設利用の増減について

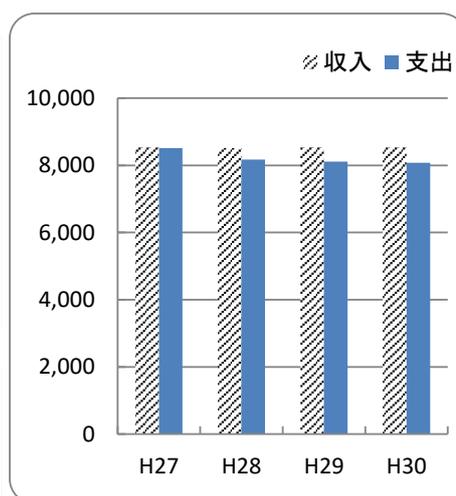
総括	<p>平成30年度年間利用者数 17,769人(対前年比104.4%) 午前～午後にもたがる利用について、平成29年度は2回とカウントしていたが、平成30年度から1回とカウントとしている。カウント方法を見直ししても、前年度の利用を上回る結果となった。</p>
----	--

(1) 収支状況の推移 (自主事業を除く) (千円)

項目\年度		H27	H28	H29	H30
施設の収支	収入	8,542	8,513	8,540	8,539
	うち指定管理料	8,239	8,254	8,254	8,254
	うち利用料	303	259	286	285
	支出	8,508	8,172	8,112	8,076
	差引	34	341	428	463

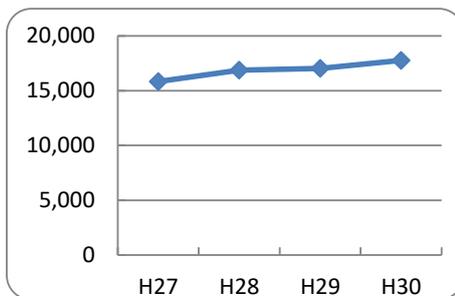
上記以外の市の収入、支出

市の収支	収入(使用料)	0	0	0	0
	支出	446	65	94	94
	うち市の修繕費	411	0	0	0



(2) 利用者の推移

	H27	H28	H29	H30
(人)	15,837	16,887	17,027	17,769



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- 〔 A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- 〔 B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- 〔 C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する達成度 C/B	基準に対する達成度 C/A
アウトプット	①延べ利用者数(人/年)	14,700	16,000	17,769	111.1%	120.9%
	②利用者アンケート満足度(%)	70	70	97	137.9%	137.9%
アウトカム	児童福祉及び地域福祉の向上	—	—	—		
				達成度平均	124.5%	129.4%

	指定管理者	市
達成度に対する意見	<p>【達成度に寄与した・有効だった取り組みの内容、次期に向けた課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援事業では、季節感や風習を取り入れた活動を行い、大変喜ばれた。 ○児童館活動では、家庭では経験できにくいことを直接体験できる活動を多く企画した。 ○日頃から来館者の興味に寄り添った行事を企画することで、より意欲的に活動を行うことができた。 ○次期に向けての課題は、利用者の要望や意見を聞き、利用者の満足度をあげることである。 	<p>【達成度の原因・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○季節感や風習を取り入れた活動や家庭ではなかなか経験できない体験を経験できる活動など、事業内容に工夫をこらした取り組みを行うことで良好な達成度を得ている。今後は、利用者の満足度向上に向け、努力されたい。

(3)利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
423	①満足している 件(96.5%) ②どちらともいえない 件(3.3%) ③満足していない 件(0.2%)	①良い 職員が親切で優しい、丁寧。 行事の趣向が凝らしてあり楽しい 広々としていて良い 親も子も暖かく見守っていることに感謝している ②苦情 なし ③要望 トイレに赤ちゃんを座らせるイスが欲しい 子どもがなめた玩具をそのまま片付ける方がいて気になる 駐車場をアスファルトにしてほしい 日曜も開館してほしい 休みをなくしてほしい

(4)住民サービス向上の事例

○地域の方や児童館利用者OBなど様々な立場からの協力を得て、活動内容を工夫しており利用者や事業参加者の増加につながり、また参加者からの高評価につながっている。
○児童館活動において、定期的に「子ども委員会」を開催し、児童館を利用するルールを自ら考える場を持たせることにより、子どもたちの自主的な活動に繋がっている。

3. 自主事業

総括	○地元関係者や児童館利用サークルなどの協力を得て、いろいろなコーナーを充実し好評を得た。ステージ発表も小学生や地域の方々など様々な発表があり幅広い年代から好評を得た。 ○毎年、参加者アンケートを実施し、翌年度の内容に生かし、より満足度の高い「児童館まつり」を開催している。
実施状況	○「児童館まつり」 平成30年10月21日(土)開催 参加者数:522人

4. 特記事項

特になし

5. 今年度の目標・課題

学校の長期休業期間中の利用者増に伴う利用者の不満については、市、指定管理者、地域が連携し何等かの方策を検討する必要がある。